

(使用原動機) MVJ型 型式及名称 TAS J-15 (シャフトセット) 類 空冷2サイクルガソリン機関 振動简直径 28mm 気 量 37cc 総 350mm 全長 出力 1. 0PS/5000r.p.m フレキシブルシャフト径 8mm 1. 4PS/5000r.p.m 最 大出力 25mm 外形寸法 ゴムホース径 長 25 3157/2 長さ 2,500mm 高 3 420% 5,000r.p.m 数 転 400% П 41 5kg 11kg(含背負装置) 重 重 量

振動筒は、石垣等の間へ 等様がです。 を表れをした耐い を表れをした耐い を表れをした耐い を表れをした耐い を表れをした耐い いパット付の背負装置がしいパット付の背負装置がしいまり柔か 背負ったりして使えるのがなで扱い易く、肩に掛けたりでで扱い易く、肩に掛けたりで い易いようのは、背負った の起動停止が手軽に行えまで遠心クラッチが働き振動く、作業中はレバーの操作 PMのもので最大 1.4PS ために開発された2サイク 最大の特色です。 てあります。 ム気化器が付けて 転に影響のないダイヤフラ まで出る極めて強力な性能 を持っていて斜にしても回 ター式ですから、起動は、リコイ 更に、 エンジンは、 背負ったり、 プを引け 特に本機の 背負った ありま

ブレーカー とフート こと大工職、

まり、大ショベル又は三ッ又ショ がルによる土壌の掘返えし建 30×(ディー) の取こわし時におけるコンの破砕又は切断並に構造物 と、(1)ビットとカッターにいくつかの特徴を挙げます 植木職等の他、電柱やガー 囲の極めて巾の広いことが重ねた結果、本機の活用範 込み6♥型カッターによる太、トレンチシート等の打 グリ石、砕石等の 型万能土工機」と改称する の施肥時に於ける穴掘など 立木の根切りの簡易式鋸盤伐採時又は移植時に於ける 種穴掘り(4) グンパーによる よるアスファルト舗装路面 ことに致しました。 にも好適なことが次々と立 (5)杭打チャック (3)パイプカッターによる各 証されたので、これを「小 現在本機が持っている、 レールの取付工事、農園 本機は、前号で三笠万 建設業者は勿論の による土壌の輾 時におけるコンて参りたい 搗き固 ト等の打 よる 丸 圧 8 に法と能率に重点を置いて小ではさせて、各々扱い易い寸をものとか、破砕機や輾圧なる例えば、杭打機を主体とし 小らこれを三台程度に絞って一ついるこれを三台程度に絞ってしたなり、しかも能などぎることになり、しかも能ない。 上機を是非共御採用下さいま るは、本杭打機1号の他、近 るは、本杭打機1号の他、近 く発表される2号機、3号 で参りたいと思って居りま型土工機としての本来の使型土工機としての本来の使 なっています。 の使い分けが出来るようにより凡そ七種類以上の作業 のアタチメントの取替えに 能を一台で働か んとかお役に立たせて頂け とう を一台で働かせることところが、これだけの機 による現場でのパイプ お仕事の能率化に何 簡単な先端







試験	年月	日	42年	≡ 5	杭 月25		試	験	成	績場	表所	大	阪府枚			
供制	《材	料	65 A 外径				表鋼 内征		67.9	mm		建	設省大	:阪技術		所
打込み深さの	m	30	40	5	0	60	70	1 8	80	90	1	00	110	120	130	摘

FOLDA DE LA		外径	76	3mm	内径	67.	9mm						
打込み深さcm	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	摘	要
打込み速度sec	16.5	23. 5	34	42	53	61	69	76		- 80	8	No.	1
"	19	28.5	36	43. 5	50	56	61.5	68	. 1			No.	1
"	17	32.5	53	78	106			-				No.	2
"	21	25	30	38	44	52	59	67	82	94	110	No.	3
"	12	13	15	20	28	35	42	57	72	88	103	No.	4

鋼管長さ 1.250mm 切崩し地 No. 1 土地条件 60¢木杭、打込深さ70cmにて地中の異物に接触 No. 2 "

沈下せず 切崩し地 鋼管長さ 土地条件 1.500mm 埋立地 No. 4 "

主 催 日 本 建 設 機 械





発行所 東京都千代四区神田猿崇 三笠産業株式 電話 東京 (292) 1411 大伊

M

V

型

山

振

動機

で、しかも足場の悪い場所での作業に適事や石積工事に必要なコンクリート内部振動機を、電源のない現場に持ち込ん振動機を、電源のない現場に持ち込んを動機は、山間僻地に於ける林 するよう考案製作された弊社独特の新製 馬力エンジンフレキ式)

新



四

一、軽量で取扱いが容易で杭打用万能土工機の特長 五、 、本機に杭を取付けることが簡単に出来る。 とが簡単に出来る。 とが簡単に出来る。 オも、丸太も、または 材も、丸太も、または を板でも各寸法の太さ のものをしっかりと摑 でもとが出来る。 までもエンジンが回る までもエンジンが回る までもエンジンが回る までもエンジンが回る までもエンジンが回る 、杭に取付けた本機を操作するには脚立の上に 無ってやれば、一番楽 乗ってやれば、一番楽 だが脚立も使えぬ程に た場の悪い現場だった ら肩車をして作業が出 来るほど軽便で安定が 良い。 出来、特別のサポート 等を必要としない。 も、軽く支えている程 度で絶対に倒れる心配 がない。地盤が固けれ がない。地盤が固けれ で、そのまま放って置

	77.	型
=	\$	高
7	3	横
•	1	衝
		2
	_	概

仕 MLT-35杭打型 917mm 296mm 600~750回

式

2

41

数

重 点

気 量

(搭載エンジン)

TAS J-15 型式及名称 類 空冷2サイクルガソリン機関 種 37cc 総排 常用出力 1. 0PS/5, 000r.p.m 自動遠心クラッチ 1.4PS/5,000r.p.m 最大出力 リコイルスターター 32kg 始動方式

長も列席された。

負者馬淵建設の小池現場主

仕も出席した。

者である西村建築設計事務 たびの増築工事の設計担当

所の加藤現場監督と建築請

長、

田口中央螺旋管工業社

幹事の田摩フ

V

た。

そこで二人の神官が

Ł

いうことは、

洵に省みて

進められ、凡そ三十分ほどリ

神前報告の祭典が

本社ビルを新築し、

腰を据えて今日目出たく

でこの儀式も滞りなく終了 |三十周年の記念式を挙げる

楽越天楽の奏でる中を粛然|舞い戻って、しかも其処に者の玉串奉奠があって、雅|ここに再び元の千代田区に

谷社長夫妻をはじめ各代表|変更して参りましたが、

から祝詞が奏上され、

京をかえ、

幾度となく社名を

田明神の増尾神|港区、中央区と転々と居所

代の激浪にもまれながら、 戦前、戦時、戦後の苦難時

と不幸なことばかり続き、

にわが社が創立されまして

三〇年前、千代田区有楽町

かえりみますに、今から

からは、日支事変、大東亜

戦後のインフレ経済

すると同時にこの日を転機|るを今更の如く痛感するも長から三十年の社歴を回想|時に、其の因縁の浅からざ静かに退場した後、京谷社|感慨無量のものがあると同

あを今更の如く痛感するも 時に、其の因縁の浅からざ

本社会場入口

順次御参観を踏を

時間が長くかかって、御迷と様ばかりがお集り下さっ

ら増築社屋に旧社屋をも含|は東京の巨大なホテルとし

だホテル、ニューオー

東京オリンピックが生ん

て来られたことは、これ偏 さないようにと前置しなが

「この三十年を生き抜

場面3)

イラン)

めた本社参観というプログ | て一躍其の名を海外にまで

改めて心からお礼を申上ぐ

支援の賜物であり、ここに

御列席皆々様の温かい御

ると共に今日の日を吾社の

知られるようになったその

ホテルのベストルームとも

いらべき広々とした芙蓉の

一歩を踏み出したいと思っ 一つの転機として飛躍への

間は、特に今日のわが社の

います、

どうか皆様には

記念式を祝福するのにふさ

指導をお願いしたい。本席この上共一層の御鞭撻と御

京谷社長

かったがそれでも十一時

御招待者の方はお招きしな

怒になって

はということで

たお蔭であったと思う。

工場を代表して笠友会々長部部長が参加し、更に協力 **員と大阪の三笠建機から安|長とを忌憚なく批判して余** 両工場から組長以上の従業|交りを通じて三笠と京谷社 社員の他、館林、春日部の 於て三笠創立三十周年並に 社屋上の豊川稲荷の社前に 社増築落成祝賀の式典|の式辞の一言一 れた。この式典には、 いとも厳かに取り行な。胸に迫るものがあった。こ (神官玉串奉奠) から本として、 親愛されるお言葉の数々に すところなく、 は一同深く感銘させ れに応うる加藤笠友会々長 た厳しいお言葉があり、そ の祝辞もこれ又二十年間の する社員の心構えを示され 新らしき門出に処|のであります。 其の会社を 句には切々 5 三笠ニュースで御存知かと

(で、表彰状受賞者)

れること。

扨て、

この三つのおほめ

チした新製品を開発してく

のお言葉と共に、

今後の三

皆さんも既に、四月号の

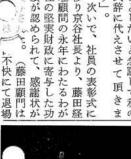
本日わが社の守護神であ 京谷社長の式辞 豊川稲荷の神前に於

わが社創立三十周年記

ますと其の要点は、ほぼ次にも思えて、心のひきしま 改めて皆様から頂戴したお|おほめのお言葉の裏に何かならいのであります。いま|ます。そうして、何んだか 言葉の御内意を総合してみ が深くかくされているよう

|下全社員が常に明朗で非常|ましょう。 られること、二つ、社長以 に商売熱心であること、 直ちに実行して、こ 転機として、改むべきもの 三十周年の記念日を一つの そうして、 吾々は、

式辞に代えさせて 頂 日としたいと念願して私の 社員の表彰式に きま



3 次々と現場作業にマッ 社員の社歌合唱)

社の堅実財政に寄与した功理顧問の永年にわたるわが移り京谷社長より、藤田経 績が認められて、



くて大変幸い 小雨もあ

が、何時もほどのこともな も偏に日頃御精進のよい だった。こ おれ になり、 る。このとき 打溶けて、 こちで一斉にビー ら折角の祝賀 はじめる。



念式と本社々屋増築落成式

クス社 びとするところでありま 取行うことの出来ますこと の二つの式典を皆様と共に 私のこの上もない喜こ (三笠建機安部部長)

身に余る光栄と深く感謝感」いとまで仰しゃられている 全国の代理店其他から六十 思いますが、このたびのわ が寄せられ、数々の賞讃の 通以上にも及ぶ沢山な祝辞 激致して居るものでござい お言葉を賜りました。洵に世界の三笠になって貰いた が社三十周年の式典に際し して更に旧製品の改良と新は、この三十周年を転機と ことです。 して最後に日本の三笠から といわれていること。そう 製品の開発に努めて欲しい 険であるということ、次に

其の温がいお気

うに思われます。先づ其の「実るほど頭を垂るるの三つにしぼられているよ」る思いが致しました。 一つとして、三笠はチー ら面映ゆい思いがしてな。ない思いさえするのでありしかし、私としては何か。 たえて余りの嬉しさにせつ ままっそうして、 持がひしひしと私の胸にこ HATEL HER OTAM

いる様子がハッキリと感じ だけは何時までも失なわなとなって社業に精励されて めをいただいた三つのこと社長以下本社も工場も一丸 いで、折角皆さんからおほ かな」という古句があるよ うに、お互にのぼせ上らな いよう心掛けることに致し た。 発声で万才を三唱して閉会 頭により神酒で乾杯、 合唱に続いて、 かくして、田摩社長の音

ワークがよくとれていて、

が社発展のための意義ある て、将来のわ この



今日の記念式典は、 余り

ィーのムードがくりひろが な開宴の挨拶がすむとあち やがて、 早くも祝賀パーテ

言葉が寄せられていること|長とが表彰され、更に多年 笠に対して、次のようなお 経理部次長と星野営業部次 の永年勤続者としてわが社 に貢献するところ大なりと にわたり新製品の研究開発 の最古参社員でもある平戸 代行し また、 十四年 ラムがお廻ししてあったの ター、ダンスオーケスト 方々と奥田宗宏プルース テーブルを囲んだ来賓の 十時半頃には早やくも

なりすまして居たのでは危 にそれぞれ表彰状が授与さ設機械のトップメーカーに を買われて小林館林工場長 とと考えて、これで特殊建|産に寄与したる永年の努力 この三十周年を転機と|社三笠建設機械の安部部長 れた。なお、大阪の傍系会 して吉田技術部長、その生 階共お客様で つ見え始

(会場の一場面))

でん屋、

そば屋、

焼鳥屋な

に立ち並んだ、

すし屋、

て、宴は愈々酣に会場両側 ケストラのリズムに乗っ の満を引き盛り上がるオー

存じます。

先日は、まこと

御繁栄のことと拝

切れの大繁昌、

り会場の雰囲気に酔わされ

々裡に午後四時散会した。 て時のたつのも忘れ和気靄

く深く感謝申上げます。

思い出せば、終

戦後の混

存じました、又帰りには、

立派な記念品など御心尽し

ねの御厚情のほど誠に有難 記念品迄頂戴いた 々を忝うし、 待になり大変な御 創立三十周年記念

その

し重ね重 上大層な 歓待の数

散会後本社会議室で、

ぞの屋台店もたちまち売り

三〇周年を単なるお祝いご

を見逃してはならないと思

います。それは先づ最初に

| (本社からバスで第二会場)| 貸切バスでホテルニューオいただいて、正面玄関前の まって大賑いであった。 び一階え出られて、 客様は何れも増築社屋の 品庫を御覧になってから再 まで降りられて、製品庫、部 エレベーター 階駐車場から入場されて、 ・タニの祝賀会場へと向わ 階の階段を登られ、二階、 ム、作業室などを見て 屋上で 各室を御覧に で一挙に地下 ギッシリと詰 休憩された後 定刻時には ショー

質パー

ティが夜遅くまで催

神力と温いお人柄 乱期より社長殿の

社員一丸となって

10等により

不屈の精

の品々、厚かましく頂戴致

(出生)

| 交躍進され今日の記

盤石の態

共に躍進

厚く厚く御礼申述べさせて し恐縮千万に存じました。

いただきます。今後吾々商

(会場の一場面6)

られましたことは何物にも勢と不変の繁栄を築き上げ

留者を含めた社員だけの祝

を讃えて感謝状が授与され はテントを張って一応対策の確立に努力されたる功績 れているので、予め屋上ににわたる西部地 区 販 売 圏 雨がつきもののように云わ れたのであった。 三笠の行事には、何時も の下、 数名が笑を浮べて一同を待 女神のようなホステス二十 に開かれ、



京谷社長の

のとみえて、

社歌

たがどうやら、

くつろいだ気分 場内はたちまち 星野次長の簡単 ルを抜き イ社 エクイップメント、 ユナイテッドマシナリ モーリス工業(株)殿 田中春日部市長殿 フジヤ機工殿(伊那) 久保谷春日部市会議長殿

(桐生)

社殿(バンコック) ユーメル社長殿 ディング、サプラ (フィリピン) てしまいまし 福のムード たたえ偉

近年にない大変愉ら つい時間の過ぐる どを祈り上げます 末筆乍ら愈々御 機機勝のほ ほんとに されて、 快な一日 のも忘れ

チャバコ

された祝 にかお尋ね申上げます。 本れしたお変りは御座いません 畑 有難く感謝致して 居 りまざ 典には多数厚かましくも 礼まで ㈱ジャパンダイレクト 覚悟でございます。 さて先般三十周年記念の 取りあえず書中を以て御 iv 山本

巌 戸田研磨工業株式会社々長 御礼申上げます。 々御送附下さいまして厚く ました。又本日は写真を態 御招待に預り有難うござ 創立30周年祝賀パーティの す。さて過日は大変盛大な 御隆盛の段お喜び申上げま 拝啓、初夏の候貴社益々

鈴木修次



官公庁、建設業

とおくつろいで楽しく愉快

祝賀

パーテ

に

出席

して

お気軽にごゆっくり

か一切固苦しいことを抜に てなしも出来ませんがどう は取立ててこれというおも

があり、

一同拍手、共鳴、

祝福と次々にピール

節となりましたが

談下さるように」との挨拶 に、お杯を重ねながら御歓

曲によって会場の扉は左右 テーブルの周囲には美し 花又花で飾りたてた

大シャンデリヤ 頂きました御礼申上げます 日本工業新聞社 金井宏文殿(東京) 当日次の方々から祝電を

山中産業(株)殿(大阪) 三井銀行神田支店殿 管機械工業(株)

当日の社長殿の

申上る次第です。

山木屋商事(株) 森長金属(株)殿 二笠建設機械(株) 管敬一社長殿 社員一同殿 (金沢) 々が心から社長殿

和田機工(株)殿(福岡) (株)金剛谷脇社長殿 武田社長殿

優ることと衷心よ や多数の有力な参列者の方 したエビス顔と社員の方々 場面4) まことに りお慶び の人格を コニコと 分の一に添らべく精進致す の努力を致し、 社と致しましては、尚一層

御期待の万

るものと確信いたします。 後ご発展の一途をたどられ 康から秀忠という具合に今 はまことに尊いもので、 難の御生涯に対し敬意を表 戴した三十年のたわごとで りました。しかるに本日頂 する次第です。 詳細が判明いたしますと共 身だけだとばかり思ってお ビンの日露協会学校のご 冠省、 あらためて貴台のご苦 日本ダム協会専務理事 私はあなた 30年の年輪



事をお詫び申上げます。 席に参列させていただきま もかかわらず多数来賓の末 した事は、身に余る光栄と 係にて遅刻参上致しました K



本社の社員パーティ 逞三

敬具

言葉と致します。 来得ます様祈念致し御礼の 後共何かと御指導御教示を ぐよう訓示致しました。今 分致し更に販売に全力を注 三笠建設機械株式会社々長 安部を通じ他幹部に夫々配 致し厚く御礼申上げます。 る記念品並に記念料迄頂戴 も感謝の御言葉なり結構な 更に四十周年にも握手出 りたく 御願い申上げま



感謝申上げております。

(会場の一場面7)

盛岡

第六

気はコー

(第177

菊

7/

第五コ

郡山〇

酒田

第四コ



有る他、金属材料、 抗酸 作られ、さらに三年前仙台 が弱いように思えてならな立総合大学たる東北大学が 発電所、バイパス道路等が -等三笠輾圧機部門の進出機能を持っている。又、国 備が進み工業用水道、火力 ないが、タンピングランマ

選鉱精錬、 排水溶液、

科学計測、

電気通指示されてから、その中心 勿論こ字計測、湾臨海地区が新産業都市にかった。

としての大一元デーラー

の御協力を得な

勿論これが拡販には、

一実演

建設が計画とではあるが、デーラーを

る。

時折見かける道端の標

北へと真直に向

カコ

って

いてしまっ

た。その他、コン

けに嬉しくなっ っている製品だ 言われ自信を持

一に比べて扱い やすくなったと

を巡回した。秋田営業所は

湯沢市、 リード

パクター

やバイブレー

81

で所長自からトラックのハー 社でキャラバンを行う有様

等も良く普及していて、

規模な新港|ければどうにもならないこ

工業化して ためには、このキャラバン 来ている事を告げる。トンされ急速に して販売意欲を盛り上げる 示が東京から五百何十粁も

業者も機材 いう信念の下に、吾々は連 現在各建設 信頼をかちとる意外ないと

来ている。

を通じてユーザーの絶対的

置場を拡張 日サービスカー

を最高度に

めに活動したわけで あっ駆使してこの目的達成のた

が延びているので、

営業部堀茂記)

中央官庁の出先機関として|戦後仙台塩釜が特定地域に|数も若いし、或程度ライバ

原因だといわれているが、

ーターに比較して、販売年

して県行政の中枢をなし、

東北地区全体の行政的中心|指定され工業立地条件の整|ル業者も多いためかもし

n

街各地に分散され、それに る。仙台地区の特殊建設機有って、それ等は何れも市 の意欲も極めて 旺 盛 で あ信、地震等の附属研究所が し各種の建設機械に対して

wo+ ビスカ

北版 東



スを実施した。 に巡回PR、並びにサービ 乗して貰い仙台市内を主 親和機械工業の菅野氏に|如何にも文化消費都市らし 塔乗者 四月二十一日|天文台を経営し、さらに野四月十 七日ンター及び望遠鏡を整えた コ 仙台市 I 鯉沼・長畑|建築の公会堂等を擁して、 七 ス 日ンター及び望遠鏡を整えた 内 学都とも呼ばれている。市私立の各学校をもまじえて ことに少なく、 には工業らしい工業は、まい性格を備えている。仙台 草園、自然動物園や、近代 はそれに応じてレジャー ゴム工場や

連続で、



第一

コー

常に義理堅く、

始めていた。 ン中の二週間は、暑い日 だまだであった。 それが青森に来て見るとま 開、盛岡では、七分咲き、 台では、 搭乗者 巡回地 至自 五四 桜は既に散り 月二十六日 今野・堀茂 月 関で 盛岡・青森 キャラバ は満



ムワークが保たれ所員一同 ではあるが一糸乱れぬチー巡回した。所長は着任早々

ので工事の発注が遅れているで工事の発注が遅れているで

るが。その営業的

きしてから三年

余りにもな

お取り引 間物産さ の御熱心なリードで大館市

工商事㈱の所長以下営業員

を中心に鹿角郡、

(着任早々)数日間のキャラバンの労苦 能代市を|果がハッキリ示されたので

んの本社がある。これの本社がある。

こに三笠

感じられる。

たんは」

のいわれは昔、

さを是認してもらい其の効

等吹飛んでしまった。

いだ。

八、

九日の二日間青

中に即決一台、内定一台、

を修理後80 の比較実演 が実演は非常に 160 ランマ 下さるので、 ンマー、

を覚えた。次の十日より十

メーカとしても心強い感動

策林道工事等公共事業、民山、河川工業を始め雪害対

ても頑張って載 営業所、 て酒田地区はもと ても強く三笠の代

一川、矢口二

より秋田 理店とし 地盤はと

となり、

を願い早

談後建設資材部立

信頼度を目のあたりにして 浩気溢れ得意先に も絶対の



三日までの四日間は、 機械秋田営業所の営業員の|アンバランスで林道工事と| 、大曲、角館、琴丘で秋田市内を中心に 中道間事業共に昨年度を相当上 れて 共に相当額の予算が計上さ いるらしく、 (琴丘町役場前にて) 洗濯板の上を走品が力強く働い 二級国道、県道本間物産さんの日 となるとまるで力によって、 道路なみだが、 っているような 巡回していても 至であり我々が まわることは必 級国道は高速

この現場を廻って

我

いるのを

三笠の代理店である阿部機

岡も観光道路の工事建設等

いるので需要度は

高い。

方が建築の基礎を請負って

の売り込みを開始 ―80型タンピングラ の営業員に御案内

する。 見ても、 頃の御努

8

の目的地鶴岡に向う。

ランM マーR

心強く感じた。 みることが出来て

どの現場の

さん

が三笠製品の販売

に頑張っておられるのであ

このような国土建設の陰に が活発に行なわれており、

MTR-8型タ

カー

トバイプ

オベレー

ターの方

々も口をる。

は日本製鋼、三井機械の三スカーを次の酒田 目し、我々のキャラバン中いに成果を挙げて、 の優秀店で各メーカーも注一任コースを無事に果し、 中道機械東北六営業所の中れた。 して帰路に就いた。 見通しは特に明るく感じら 最後に青工商事㈱、 にの 共に再度のブッパ説 遅くまでの御熱中し上げると 鹿口 業部宣吉記) 東野 シュをお願申している (学 かくして、 社の早朝から夜 機械産業蛛御両 に果し、大 へと回送 サー



佐藤常務さんの御顔を (鶴岡市にてインパクトロ の実演) 5 海岸に沿って進め 力士、 が自然と小生の胸 野課長さんの御案 故郷でもある。小 羽前水沢を通って ぐ桜の名所として にわいて来る。 拝すると酒田庄内 に温海 小波渡に入りさら 京谷社長のひいき も有名で我が社の 鶴岡は弘前に次 いるという実感 柏戸の生れ 入 らない。 間物産㈱、阿部機工㈱両代強く働いている。これも本 店の皆さんと手をとり合っ 理店さんのお蔭でメー うに思えた。 の営業員である我々も代理 らともなく聞こえてくるよ らす法螺貝の音が、 のように羽黒山の山伏の鳴 て市場を把握しなければな レーター、 ンピングランマンマーが力 三笠のコンクリー

その健闘を祝す

どこか

×

×

(営業部堀光記)



都会にはみられな みをはかった地方では意の 一職の方々を対照として売込 なっている。今回は特に鳶と呼ばれ土地の人々の誇に も「おけさおばこライン」 バイバス道路が出来その名

発注が遅いので発注 実どこのお客さんの るか解らないうちかれだけの工事が取れ がふえるから、 所へ行っても、 ら機械なんか買える すか。と勧めるとど なら今の内にどうで匂い、ワラビ、ウド、 はなしていた。それ っていけない。」と、 も購入しなければや になると急に工事量 と仰しゃる。 「今年は、 異口 秋田の北部、大館市にある ンの中盤第四週目を迎え、 月八日、東北地方キャラバ ばこの田植姿が見られる五 マイなどが出盛り、秋田お 雪も消えリンゴの花が咲き やく終りをつげ出羽丘陵の

永かった東北の冬もよう

歓迎してもらえたのは嬉

かった。しかも殆んどの業

発達した港町で 酒田市は最上

形県内唯

第一級の機械としての誇を

の河口に

優秀で、

の貿易港であり

近代工場|持たれて、

ゼン

者が我が社の製品を所有

て居られたのには非常な心

の並ぶ臨海工業

強さを感じた。

を中心にMRV―10型イン

-80型タンピングランマー

搭乘者

って

到るところで、

搭乗者

堀

元· 塩野谷 田・鶴

岡 H 日

0

M T R

80型タンピング

ランマーは他社製品に競べ

巡至自 回 地五五

月 月 I

十五

と賞めてくれた。

このたび

は

性

能

P

良く使いやす

までも三笠の名が知れわ の片田舎にある土建業者 第三

7

1

ス

服するのみ

ルを握

敂

第

四

ス

ー、 タンピン 揃えて三笠のバ

3

ンピングランマ

イブレー

巡至自回 五五五

月 月

+

Ξ

日

熱心なPR活動により東北このように各代理店の御

大館・秋田 恒吉・笠原

機械に対しては非常 年の内活動できる期|青工商事大館出張所で引継|に努めた。 強させて頂いた。 間が限られている為 こちらの方々は非

バイブレーター 修理後の試運転 の簡便さ、持 運びの便利さ の強さは言う を拍し、 ラーは輾圧力 強力性で絶賛 п 1

でキャラバン その安定性と



(酒田市にて社長の試運転)

機械についての認 る細長い布で覆面 習会を開く等して タンピングランマ レーターあるいは した婦人がバイブ たんは」といわれ 現場には「はんこ た。この地方での 整備に関しての講 れた。また期間中 ユーザーに於いて いるのをみると を手にして働い

帯として のをみて非常に感激させら ると品質性能ともに極めて 本間物産さんでも 販売されている

でも数少ない海の上を通る 温海町に入る手前に日本

(コンパクターの実演)

(インパク

の方々や業者の方 ころには、

々の暖い支援があ

るのだ。

売り上

るし

(営業部今野記)

50

我々の行くと良いほどの戦国時代に入っ

場競争は過当競争といってより広く認

ななP・Rとなる80型をどんっになり、一台の納入が大きてより広く認めてもらうことのあられば、80型の優秀性を

(平市の工事現場にて)

て奮闘して

於

安日各地区を 毎日各地区を

では三人で、

人、平出張所

拝見して大い

代理店 ていると見ても過言ではな

を安くすることに依って、いと思える。今までは価格

今までは価格

どん売り込んでもら

そのためには我々二

もどのような協力で

外部 佐

佐潟記)

即 \$

話も大分あった。 の優秀性が認めら

(営業

部

木記)

れたわけで に自信づけ

活躍を御期待申

上げます。

本年も昨年

(新

事道具 にならっ 員の方々の御協 社長さん始め社 双葉工業さんの る長野機材さん

旅館のあるところ

かぎや」

ŧ

一会に招かい。

れたことのある って社長宅の新年

た遙か前方に名島

が浮かび

れます。

い人やお

家揃って

規)

所かと思

館林 02767

(2) 3 2 2 1

(2) 3 2 2 2

3223

力を深謝すると

トロ ーラ

り頭を上げて進も

わしくとも胸を張

ろがどのようにけ

うかしてはいられない。

最近、ランマー

業界の市

我々の行くとこ

深刻そのものだが、

空模様

は

っこうに変る様子がな

きながら上りゆく様は絶景 ねうねと美しいカーブを描

往きては戻り、

5

い

台の売り込み納入に成功し

ともいえ路傍眼下に広がる

石井商事

㈱さんの御招き|牧場には数十頭の牛が群を

ス

は

相当高く、

どこの現場で

第

六

コ

1

ス

知識が豊富になり、

より良

製品を…という考えに変

策であったようだが、

7

も次第に製品に対する

第

七

コ

1

ス

ングランマ

を大分使用さ

長

野

展

自

両地区共MTR60型タンピ

三笠製品の市場占有率

巡至自回 地 五月二十二日 五月二十七日 形

のため干上がった田が、それるのだが、記録的な旱天 かな早苗と田植歌と共に訪 東北地方の初夏は、 搭乘者 今野・宮川 爽や のには心強い思いで一杯だ も御使用いただいておった

方々の尽力の御蔭でMT

巡至 自 五

[地] 仙台・福島六月三日 五月二十九日

高々の維持費を考えると結局 あのは販売価格が安くとも後 わって来たようだ。という

巡回地 至自

地郡山・平 六月五日

千番から二千

番台の古い

れておられ

搭乘者

鈴木·樋代

たようだっ

た。其処で、

のが多く苦情も、

少々あっ

場協主 所催催

長長

野野

建

設

県

建

械

会会

至 設

> 五月十四日 五月十二日

E 金

長野市青木島地籍丹波島橋西隣

ばさすがに暑

すがに暑い。 日中は二台も五月六月ともなれ

も期にこそ一台でも多く三笠 田上がりな訳で、こういう時だれに は故障しない機械の方が安

思われるが、それが六月にがなくて夏の東京のように

性能の良さを強烈にブッシ

水無月と言うと、恰も水

ある現在の8型タンピング

牛にひかれて善光寺詣

が強く感じられる。

(双葉工業(株)斉藤社長)

長野県建設機械協会々長

われた、

その善光

々はMTR60型の改良型で

ランマーを実演して、その

80型タンピン グランマ

を世に出したい。

為、じめじめとした日が続

あたるので、丁度梅雨期の

ュして、

各ユーザーに呑み

搭乘者 堀光·佐潟

十八度という気温が幾日も

続いた。

を神だのみする農民の姿は|世我々の心までも浄化され ことは出来ない。恵みの雨 面緑の波が揺れる様を見る こ、ここに見えていて、 さも 大そのもので、 あおぎ見て過ごす毎日は雄 た。眼前に広がる蔵王山を はありがた ター五台を納入出来たこと - 三台を始め、バイブレー R=8型タンピングランマ 仕事の疲れも忘れさ る思いであった。 山と空の美しさ いことであっ 猛り狂ら暑

(山形市の石井商事(株)代理店にて)

日 無い我々も、この 吸することなどの たに空を仰ぎ深呼 常日頃、

インを通ったのだ中、蔵王エコーラ 仙台への廻送の途 する様になった。 空に向って背のび が、その名のイメ ージそのままに、 に幾度となく、 形に来て以来、 聞に出ているが、なるほど



ことは、これ 実績を誇って

から いる いら

ムもないと 未だ

一台の

クレー

配であったが初日が、雷雨

島県下の舗装状態は全国的感じた事であるが、この福

た

丹波島橋下の千曲川

の両日、

上田市に於て長野

た。私達実際に廻ってみて

会場はそのにぎわいをよそ

国道十八号線をのぼっ

たが、相僧と九日、十日、

た、大規模な展示会であっ

くの出品メー の開会の挨拶で始まり、

カーを集め

多

めかけてにぎわっていた。 寺が御開帳とあって、町は

込んでいただくよう努力し

くのではないかと天候が心

だったあと中一日小雨と、

週間の内二日間だけの好|に見てこれ

からというとこ

の川原で開幕された。

年々

県建設業協会の総会が開

れ、その会場でも展示会が

つれも建設機械の展示会

実けに今後コオー

た。

重機の実演場所、

般

づれたお客さま

の客は全くな

フリ

中央螺旋工業(株)

田摩フレ

何れも御熱

せるものがあった。 恰も三笠の株主総会を思わ (株)の田摩社長も出席し、 しかし、

おと

た。それだ かと思え ろではない

川原で開催される様になっ場が都心から離れ、郊外の

場者は思っよりも少なかっ開催されていたせいか、来

常務、

小林館林工場長、

京谷社長、

京谷専務、

ンクリー カッター、

な武器となるに違 の市場戦線に大き

市場はもう占めつから、ランマーの 場は広いのである かるように未だ市 定したことでもわ いない。 くされたという考 ン期間中何台か決 キャラバ

に出ているが、なるほど であろう。我々は三日間の水不足でなやむ農家が新 になったら大きなお間違い 仙台地区のキャラバンで八 えを代理店の方々 が万一にもお持ち ので時期的に見てもよかっ 天に恵ぐまれ ろそろ出始めてくるという 月は新年度の工事発注もそ

た

又この六

われる。

その為、

との連携を

ーターは三笠一色で満足感|は明らかだ。市、仙北、仙南に亘って実|売り込んで下さったら、そ市、仙北、仙南に亘って実|売り込んで下さったら、そ三日間のキャラバンを仙台|方々が一年を通してマメに 中道機械産業仙台支店とたのであるから、 代理店の

私の口からいうま でもなく、 いるということは 種よりも永 型は他社のどの 主は他社のどの機 年間一回のクレ なった代理店に ムもないという 性能が優れて お売り 持 5

日間の予定で巡回PR及び

あった。

やがて山形県に別

れを告げ霧の中を再スター

積極的売込み作戦を展開し

童

村山、寒河江等々を六思わせ、上山、長井、赤湯、天の地方に

天 の地方に住む人々の生活を

素朴で幸福そうで

形市を中心とした米

なし、

草を食む光景は、

٢

凸凹道で、野を越え山を越

れ暗中模索の状態で時折す

乳白色のヴェー

ルに包ま

れちがらヘットライトも瞬

かにも田舎道らしい 形市内を一歩出る

顧客先、工事々務所

間キラリと光っては消え去

努力の御蔭で、

バイブレー

独感に支配されてしまっ

かし、この霧の向う

-実演説明)

着を待って 客様が、

いてく

を味わった。

しかしランマーようにこのランマーの型録

るに当り、

毎日の

やはり、 を主体として、

各ユーザー間に於一営業所では、

巡回したが

きは、

大いに利用して、郡地元の利というも

時点において

の説明)

が取り交さればかれ活発な意見

る研究会が、 販売促進に対す

かと思います。

過す一

時

た。最後に当展

の一般の森戸海水浴場で、か 当ります。又直ぐその先が、 して呉れる有料駐車場もあ れ其の境内に一日二百円で貸

社の代理店であ

示会に於て、

| 営業マンは五利日して、郡山

事の最盛期を迎え

を持参して売り歩いてもら

となると他社製品の喰い

办

いたいものだとさえ思った

一台でも多く売り込んで

ると、

宮城県のお 我々の到

この山路を下りき しがあるはずだ。 には又明るい陽射

区共、

これから工

R8型タンピングランマー 今度のキャラバンはMT

である。

頂

仙台、

福島両地

なわれた。

と思われた。 しかし、

一今後の展示会のあり方や、

(代理店)

会員の方々との

裏山より聞えてノ

に合せて睡眠をむ

める葉山湾の風光

網記念館に於て、

出品メー

に吹かれながら一

カーと長野県建設機械協会

れる。

ってゆき、ひどい緊張と孤

タンピング

代理店各位の御苦労と、御 と現場を廻ったが、日頃の



元のデーラーに遅れ の郡山、平 来でおり、 前迄は、仙台より 又福島、宇都宮のれをとっていた。 混戦状態といって っておらず、その 日~二日がかり ナラー 過言ではない 山、平方面は が拡販に それ迄

まで係員に説明を聞いて行

吸って早朝の海釣 だ新鮮な空気を胸 年も又海と山の香

へのハイキングコ

ども運転され、

納得のいく

型インパクトローラーなど 用されていないMRV

を博した同じ森戸

昨年の「海の家」

御自分でなんどもなん

かれた方も数多くあった。

最終日には、戸隠高原飯|楽しみ一汗流した





(長野展に於ける三笠展示場) 深く聞いておら た。中でも当社れたようであっ で、 型インパクト K R V ピングランマ TR-8型タン から出品したM 心な方々ばかり ラーの実演は 出品メー

笠 海 0 家 開

設

場期所間

に開設しました。 設の一環である いてきましたの て神奈川県葉山の 海水浴のシー を今年も昨年 森戸海岸 にならっ 三笠海の が近づ 厚生施 設備としてテレビ 油、砂糖 番茶等を会社負担 等 糖、米、 食塩、

ある

人気をよんだ。

同県には、

まだあまり使

電話〇四六八(七五)二五三七年三十一日 理 髪 店 二 階至八月三十一日二ヶ月間至八月間十一日二ヶ月間 海の家係記・

し、又笠友会の幹事である| 続いて足利谷川春日部工場長等が出席|を下ろした。 クス工業 蓮岱館に於て の田口社公園内にある | 吉田 | あってひと、 株主膝を交え ての懇親会が 久方ぶりに全 (桜電機工場全景) (Y生)

電 機(株)第二 総 会 十三回 開

桜

株主総会が足利 で催された。 四月二十 ター工場である 八日、 桜電機の長の開会の辞に始まり、 当社のモ 3

の市民会館|藤社長の挨拶に続いて監査 からは、 一役である京谷社長の挨拶が **たず桜電機の佐藤経理課** の巨木に眩惑されながら、 花をつけた見上ぐるばかり 朝、 記念撮影などして、

た。

解散し

終った。 かせ、和気靄々裡に、杯を重ね懐旧談に

園を散歩し、 当館に一泊した一同は翌 つつじが満開の足利公 色とりどりの

(足利公園にて)

つさほるの声 **|海岸で今|** りや裏山 を楽しみ 階から眺社員以外で、 所で潮風 ース等を いっぱい りを含ん がます。がます。 入れませんので、 スな「三笠海の家 望の方は総務部へ も入寮券がないと ます。 り もある超デラック 本年は、 ではないかと係 同思ってお 社員で 御希 味噌、 醬

(三笠海の家)

林 番号 変 更 場 0 御 知 t

八月中旬頃から館林工場 電館 話

太田0276 (22)3886

の電話が左記の通り変更されます。 下記の旧番号は廃止さ (廃 止)

(新製品万能土工機実演)

冒密亞

阪

至 自

五月 五月二十二日

十三日

月 3

主催 展

風薫る五月、 場所 大阪市港区魅町三丁目 日本建設機械化協会関西支部 本年度の建 (弁天町駅前)

(会場にて外人と商談中)

於て華々しく催された。 を国際見本市第二会場跡に 建設機械展示会は其のトッ 設機械化協会主催の第8回 中旬の十日間 れた。 特殊建設機械」と言うテー マをバックに陳列、 技術と品質を誇る、三笠の 実演さ

プを飾って、

今年からは三笠産業本社|日中は耳を聾するばかりの 汽笛の聞えて来る会場も、 朝夕は時折沖合の船から 実演機械の轟音

新

展

至 自

六月十一

E Ħ

0 3

六月三

周年記念の展示会が約五〇 店である三洋機械創立二

この展示会はダイヤロー

(お祝いの記帳をする京谷社長)

き上げられ一念で、 の基盤を築 於て、今日

事業を積極

に時代の先端をゆ ンな本社ビルを持

た小野専務

させている吉沢原

動機株式で、 的に発展

の並々なら

会社では、本年で創業満二した。

又与って力

ぬ御苦労も

十周年を迎えたの

で、五月

一十五日に井出、

あるところ

であり、

継がれた、

P&IIと掘削機等と

○坪程ある同社の敷地内で

岡に於て、

全国的に有名な岩手県の盛

部鉄瓶わんこそば等で|建設機械展」というテーマ

(盛岡市本町通三丁目 九の六)

一十周年記念展

示会

一洋機械

(株)創

業

|洋機械創立二十||結された見ででして一致団|| 現在三笠の代理||を初め社員の方々の一致団|| 大き号県の盛|| 中を打ち出した。菊地社長|

(大阪展示会会場内の三笠展示場) 目をひ 付けて杭打ちに う。なかでも注 或はコンクリ ッチメントを取 式パイプレー は、新製品の万 包まれてしま 工機は各種アタ 能土工機と背負 と観客の熱気に である万能土 いた 0 増加している。 公共事業量は、めざましく 湾 の北木予算は一九五億円と 新潟県の道路、

砂防等都市計画の各種

河川、

港

く、入札帰りの業者の社長ある一般客は ほとんどな

四十二年度

るヘルメット姿の方々が大

さんや、

現場で工事に携わ

半をしめていた。

当社から、出品のMTR

、MRV―10型インパーの型タンピングランマ

10型インパク

3型、4型、 V C S トローラー、

売勢力を持って居られる同 ピングランマー等の実演出と、東北地方全域に広く販 ンクリートカッター、タン

2型、

M

華々しく行なわれた。

この

岩手県内はもちろんの

なインパクトローラーやコ

ターの他、 イブロコンパク

社のこととて、

場所 主催

新潟市 男量 ヒー 丁日本建設機械化協会北陸支部

して興味を起させるに充分 の如く多用性を 演をしてその名 トの破壊と、実 示し、見る人を 五月の大阪展についで行 新聞で発表されていた。 われる大規模な展示会だけ



SANGY

には御協力を願うこととなる本機は、行い、大阪の三笠建設機械であった。

が飾付その他の運営一

切を

った。

当社の展示小間には製品として、

タンピン

にデビュー

かと、

らアンケート

ものが一

0

(新潟展示会会場内の三笠展示場)

特に

雨にたたられたが、それで一の内でもMTR―8型ラン

間でしかも会期中二日程小一ついたように思われた。

期間は五日|来るものがかえって、目に

も多数の入場者が押しかけ|マーが注目の的になり、

打ち機は人気を 万能土工機の杭 をあびた。 の実演には注目 品の万能土工機

これもメーカー

及社内向

盛況を呈した。

演による強力な性能と吾々 の技術的な機能説明とによ

ってから展示会 当の需要が期待される建設して頂けたことは大成功でよび、中には帰けのテーマとして「今後相り、本機の良さを充分納得

ふたを開けて見ると入場者やって来た。しかしいざ、 五、六百人とゆうことで、は意外と少なく一日平均千 ちょっと物足りない感がし それでも展示会でよく、出来たのは、これ偏に地元 我々は胸をはつま され係員を激励された。 場、 どを現地で売り捌くことの 社長が星 多数あり、 今回は会期中御買上品が 会場内をつぶさに視察 野次長と共に来 出品物のほとん 八日には京谷

MIKASA

(三笠展示場における見学者)

五月晴れの上天

K

くあった。

場に納期の問

械械展」

期中は総数九万 気に恵まれ、

会

表します。 御協力の賜物と 代理店、皆様の 展示会の開催期 深く感謝の意を しかし、 地方

十周年記念祝賀パ

テ

1

|建設機械(株)創

(大阪市北区堂島ロイヤルホテルにて)

コンパクター、

等をはじめ

であった。

出品会社数は九二社

來記丨

をひろめること と、大いに社名 産業ここにあり 者を迎え、三笠 七百余名の入場

た。

クランマー、

振動ローラー

とする主要製品が「伝統の

(三笠展示場内に於ける新製品) 考を促した。 はない 間位いが適当で 過ぎたように思 たのは、少々長 間を九日間とし えた、精々五日 主催者の再 三笠

> 林工場長、長谷川春日部工 谷專務、吉田常務、 当社からは京谷社長、

小林館

森西販課長の六名が

新緑の五月十八日午後一|

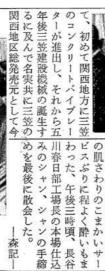
だろう。式会社の創立十周年を記念 式会社の創立十周年を記念|出席した。 時より大阪市堂島ロイヤル ホテルのダイヤモンドルー

招きして盛大な祝賀パーテ のはメーカーの御援助と、 原等、百余名のお客様をお を迎へることが出来ました 要家、会社関係筋、報道関 小野社長は こーー

な大広間一杯に美し







の手締

長谷

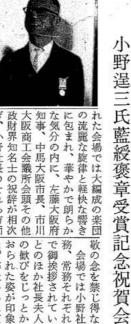
森記

/祝賀パーティーにて 中央小野社長、左へ京谷社長、京谷専務

し昨年九月監緩褒章を受賞にわたる納税への貢献に対 り抜けて今日の確因戦中戦後の激動の時 ンでは、 盤を築き上げた㈱ からオーサカロイ な祝賀パーティ 三百数十名を招待 したことを併せて 一山楽の 六月二十三日. 四十周年



(創立40周年記念祝賀パーティ風景)



のうちに、大阪のホステス

もあり、

同和やかな談笑

から飛んで来られたお客様

この日のために遠く九州

は置かなかった。

いやが上にもはづまさずに

オノ

マシン創立四十周年記念と

機械工具の街として全国 |れた会場では大編成の楽団|敬の念を禁じ得なかった。 の流麗な旋律と軽快な響き 政財界知名士の祝辞が相次 に包まれ、華やかで朗らか 知事、中馬大阪市長、市川 小野社長のそれら方面

広さとその御活躍ぶりの広。妻にお祝いを申し上げた。 |にまでわたる御交友の幅の|出席して、親しく社長御夫 大阪商工会議所会頭その他の歓びをじっとかみしめて な気分の内に、左藤大阪府で御挨拶されていたが、こ た。弊社からは京谷専務が とのほか社長夫人のこの日 務、常務それぞれ夫人同伴 おられた姿が印象的であっ 会場では小野社長初め専

(創立20周年を迎えた同社々屋

重機械が主な為我社の様 た、小野製作所の手によっ 会場風景左端小野常務) いまから十五年前、

すと挨拶された。 時代を終始カバーして、所と深く感謝いたして居りまた商売熱心と、この二つの温い御愛顧と御支援の賜物 常務の情熱と誠実とに溢れ オノマシンの前身であっての面目をいかんなく発揮 今の 謂セールスエンジニヤとし 三方が如何にも嬉 出来ない。 してこられた安部部長のか

のものがあります。 拝見するとき感慨正に無量 ゆききしておられるお姿を くれたる力も見逃すことは ば低く或は高く人々の心を 折から奏でるバンドは或 この晴れの御盛儀にこのお 喜々として来賓の間を 今眼のあたり、 L そう

代理店の最右翼を占める有であり、又弊社の東京地区

力商社でもある。

京谷記一

る都内有数な建設機械商社一路業績の拡大を続けてい

貢献することを目標として機械の販売を通じて社会に を社是とし、建設及び農業 勤労、見識、気魄、協調」る様に、創業以来「誠意、

御舎弟小野 の跡をうけ

(創立20周年記念祝賀パー

-ティ風景)

協調

のあいさつにも語っていを築いたもので、吉沢社長て、現在の目ざましい繁栄

て、現在の目がまし、とれて以来幾多の苦難を越え

吉沢 建のモダ く経営理 原 動機(株) 創立二十周年祝賀パーティ ーカー、

作所時代に

上野駅前に九階

さることな

先見の明も

山田両衆|月の薫風を一杯に漲んだ会|て夕暮近い上野の山を下り |土木建設業社、協力機械メ|とホステスの洗練されたサ |院議員をはじめ、取引先の|場ではバンドの軽快な響き ○名を上野精養軒に招待し|気持よく打ちとけて、和気 当日、不忍池から吹く五|祝福し、今後の発展を祈っ 盛大な記念祝典を挙行|あいあいと初夏の数刻を過 地元関係者等五〇

長が昭和二十二年に創立し ていった。 ービス振りに、参会者一同 ちなみに同社は吉沢現社 心から同社の隆盛を

(台東区上野池ノ端精養軒にて)

まれたためか、

ららかな天候に恵 三神の他にアマテラス大神

とオオナムチノミコトもお

は進む。台風のメッ 州最南端の潮の岬へとバス

カだけ

ら クマノフスミノ神の熊野

ージェットで新宮 創建といわれ ケツミコノ

こは岩の芸術といった方が

舟中神、

クマノハヤダマノ神、

が美事に林立して ピッタリするほど鋭角な岩

いる。

串本橋杭岩から今度は本

で食事を取る。 に引き返し、 為め

四月二十二日、

(中の島ホテルに

が目立って来た。

クリコックリ、自 りの舟中ではコッ

野火祭りは全国的に高名 祭りしてあるとのこと。

名ってある。潮の岬燈台に登熊に民家の屋根に低く網が張

って南海のオゾンを思う存

那智大社を今度は反対

着し、

バスで十分 大社に

後速玉

十三時に新宮に到|に囲まれた那智の滝を目前|めら

に見ることが出来る。

全く

る

れたような気分にな

神秘的である。

十五時三十

側に降りて来ると、原始林 分に吸うと何となく身が清

MIKASA

特別チャーター

の急行那智

周囲五米のナギの巨木があ には平重盛が植えたという

りしてあり、

境内

3

夕闇せまる海

島めぐりをはじめ 速遊覧船で紀の松

と島、

実に詩的で

ロマンチックで、

何と素晴らしいこ

*クマノハヤタマ ミコトルをお祭

この大社

は 着

勝浦温泉へと向う。

早

太陽を芝生に大の字になっ

う大スコワー

の内に20対11

った親善試合で

角界の名物男常錦が、こ 力ファンを喜ばせて呉れ

0 た

終了した。わが社からは京

を切って目出たくこの式を

親方が元どり 次いで出羽海

た横綱大鵬に 力士を代表し た。最後は全 鋏が入れられ により次々と ほどの代表者

(句作中の社員達

たび年寄関ノ戸を襲名する

た。

関係で地

元に贔屓筋も多

常錦関は、

福島県出身の

戦績次の通

(夏目報)

花をもたせてもら わが社にすっかり 昼食をとりながら南海の

た。

社長以下総勢約五十名

日八時七分新宮に着いた。

構内の丸新食堂で朝食の|こで一同打揃って記念撮影|

として愛玩されている。

٢

中の島ホテル

の割

り当ての部屋にく

(本州最南端の潮の岬にて)

片岡屋対三笠

第参回定期

戦行う"

で華々しく催された。 所その儘のベストメンバー が蔵前国技館に於て、本場ことになり、その引退相撲

に東京駅を発って翌二十三 号寝台列車で二十時二十分

形 り、

は縁結びのマスコット

とよ、

十七時全員

この実で造る。なぎ人

られる事一時間、宮井のウ

た後、

那智大社へと車を走

分宴会が始った。

森幹事長の開会

つろぎ十八時三十

思い思いにお祈りし

ジェット中継所に

らす。麓の中の島ホテルの

出店から竹の杖を借りて、

熊野川沿いにバスに揺をし、

向う。

宮井からウォー

ージェ

一つ一つ登って行く。長い長いいくつもの石

いくつもの石段を

拶の後、 の言葉、

京谷専務 社長の挨

乗り込み、市内第二小学校 社の鈴木、田辺両投手の好先頭に総勢十四名で沼津に 丸となって戦かわれたが我は我社平戸、星野両次長を 西野専務さん初め全選手一

一笠一勝一引分の第三戦も今度こそ我々の勝利だと

として、

三段目幕下飛付五 特にお好み番組

当日は、

から

非常に人なつ 勿論後接会もあるのだ

っとく、

人抜や幕下五番決勝などの

て、地方巡業に廻る先々でれた。上直で、謙虚で、明るい性

校庭で行った。

片岡屋さん 投の前にい

社長

の音頭で乾杯、

勝

一隻に分乗して辭峡に

モッ

グになやまされてい 日頃、都会の騒音と

|嬢に後押しされながら頑張||に囲まれて宴会はも皆に遅れじとばかり酒井||浦のきれいどころ

NO7

万能主機

三笠両チーム)

西野専務さんより

招待を受け、 竹栄亭で昼食の御

席上

った。 試合終了後

たく8対3と再度

かんともなしが

切角力など面白い余興が数 しい。

今度の鋏入に、とん

でもない遠いとこ

後回覧されて互選 の清記を始め、

に入っ

ろから、

はるばる

た方があるので、 上京されて来られ

と、いまいったよ おたずねしてみる

程度の集会には、

至極こじ青田ふえ日一日の幾何模様

松下一男

た気分日植人額に汗をにじませて

んまりとして落着

になってしまうので、こので精々十人も入れば、一杯

この日本間は、

僅か六帖

つ道

栃司、

栃桜両力士による初 の贔屓客も相当多かったら

そこで、

穂波氏

他

やぐら太鼓の打分け、

をした佐潟選手に

(横綱大鵬の鋏入)

ことであった。 のお馴染みだとの うに何れ

も巡業先

青嵐だの田植だのという都 青嵐ひと筋白き那智の滝ような気がしない、席題も 手八丁口八丁の田植振りになり、ビルの四階にいる

頃翌日柏戸との対 戦に「どうだい大

会ばなれのしたものだった

ので、

尚更その感が深かっ

沖の船気笛をのせて青嵐

彼が幕内上位の

利の因をなす活躍 四打数二安打と勝

たとはいえ三笠に 殊勲賞又一方敗れ

矢を報いる本塁

打を放った栗林選

裡に第三回定期が贈られ和気靄々の

回

ぞれトロフィ 手に敢闘賞とそ

ったら

を倒したら」とい

で入選句が次々と発表され

それぞれ豪華な賞品が出し最後に高点者には会社か

田男、穂波)

6点

(達也) 5点(謙二、 男、孝行)

森昭男

た。午後八時穂波氏の披講|青嵐葉末の露を散らしけり

新製品

行

った。

ホテルの板

しか引揚げの時間となる。

はあったが、

まことに内容

うに強行なスケジュールで 着二十時四十分といったよ

賑やかになって行 時がたつにつれて て浴びて

とたわむれている者など楽

いる者、

岩浜で波

時三十

八分名古屋発、

東京の幕を閉じ午後三時沼津発

の通り。

戦績次

576143298打打打大人為畑本木辺本沢川島村茂田大地。

て、

その言葉とは

全く違っ 戸親方となって、今後出羽く善戦し 引退後の彼は、年寄関ノ

笠産業俳句

く善戦し 引退後の彼はがら答えていると思う。

た。しかし彼はよ

しいふん囲気のうちにい

で料理して海の幸 の大マグロを会場 前さんが六十キロ

十六分串本発、

一芸者、今度は新幹線で十八一六分串本発、十八時名古った。一大の場本発、十八時名古った。「佐潟報)「たいが行会であ」「たいが行会であ」「たいが行会であ」「たいが行会であ」「たいが行会であ」「たいが行会であ」「たいが行会であ」「たいが行会であ」「たいが行会であ」「たいが行会であ」「たいが行会であります。

こに彼らしい性格 た意気を示して呉

がよく出しとになろう。

蛙 家の灯もまばらになりて遠家の灯もまばらになりて遠

穂波選

れた。と 海部屋で後進の指導に当る

一笠本社

增築記念

日

間座敷開き小句会

新緑の便りにみがく登山ぐ 横浜 加藤 敏子

笠

の翌週、 十四日に行なわれた。 創立三十 春の三笠親和会旅行は、 四月二十二日~二 周年記念パーティ 従来 っく。 る社員一 和 会 紀

も社員の日頃の行ないが善 メラを雲行きがおかしかった天候 ぎる。 泊三日の豪華な旅行を決行 御要望に応えて南紀州に二 ラックスに~という各位の 記念する意味から、特にデ 今回は創立三十周年を 泊二日の旅行であった 前日まで に現われる。 して至く美しいの一語に尽 が熊野川の清流と良く調和 の若葉が一杯に繁り、 深淵の仙境が続々と目の前 の天井は開けられ、 折からウォー ているうちに静峡に入る。 ットで時間のたつのも忘れ 快いウォー 断崖には初夏 ジェット タージェ 断崖と

かカラリと晴れ上が|-ズで旅行気分を充分に味|那智の滝が美しく見える。 メラを出して思い思いのポーか彼方に日本一といわれる めぐりには思わず溜息を 上癖で舟を降り、 50 同この快適な熊野 再びウォータ カる。頂きの大社から、 那智大社は仁徳天皇時代の

> (ウォ 出発、 半朝食、 野太鼓はマー

というところ。 の圧巻であった。 いは大島」と唄う 「ここは串本、 翌二十四日七時 ガイド嬢の

-ジェットにて瀞峡に向う) キレイどころの熊 てくれたのは本日 の新鮮味を味わし 九時旅館 向 屋着、

うちに橋杭岩に着いた。 串本節を聞きながら七里ケ 白菊の浜を眺めて いる 供の日に三鷹グランドで対 池袋支店チー 野支店長自ら指揮する群 ㈱の御好意で五月五日の 店長自ら指揮する群銀十二年度の第一戦を川 群銀さんは総勢四十 ムと富士重工

はる

近い応援団を繰出し、真新 内容だった。 の御奮闘ではあったが、 店長自からピンチヒッター され万事休すといった試合 社の鈴木投手にうまくかわ 死満塁のチ それでも最終 ャンスに支 我

四点を返すとい グランド 前に快打して一挙 に登場しセンター をわ 5 打⑤小平打①川野

かに珍プレー 終始両軍和 (群銀)

(群銀

三笠両チーム)

打③偏島
打②堀江
打④大塚

(京谷社長の鋏入)

群銀 池 袋支 店 ۲ 球

照源

関常 ノ錦戸

尸襲引 名退

披露大相撲

0

、昭和四十二年六月五日

月

蔵前国技館にて)

々あ

2

7

目土俵入、

幕内土俵, から、

横 穂波氏を囲んで初

めての俳|席題|青嵐、田植

通し

五句吐

四点句

京谷達也

日

(月) 午後六時

より京谷

当夜の成績左の通り。

ts

朝顔の伸びゆく蔓の早さ

東京

坂本

実 か

きを記念して、 では、本社日本間

Ŧi.

月二十二|て散会した。

の座敷開 九時頃ビールで祝杯を挙げ産業俳壇 て一同大喜びだった。午後

更え

要聚りて落ちつくこころ衣

横浜

浅野

明

勇

のたび、三笠

五月二十二日

(月) 本社日本間にて

藤橋藤辺田田由山 74138592 元高須木松塚園丸② 福島 屢々大物を倒し、 性来の剛力と俊敏さを以て 士として土俵生活十三年、 出羽海部屋の幕内花形力

に鮮やかな演技を見せて角|渋谷直蔵氏の御挨拶があっ 土俵一杯 常錦関後援会長参議員議員 は、網土俵入が終り、やがて、 句△

常錦関が多年で、 谷会長を最初 屓に謝辞を述 子に座り、 にわたる御品 べて定めの椅 渋

紋服姿の員だけ八名で、席題を課し になるかと思って 作などする時間の に投句したことの 句会を催し 第一号三笠産業俳句欄 た。 ある本社|浮木ゆれてさいなみ激し青 集る人々

式が約六十名 こなし、 たが、流石に心臓 ばかりなので、どんなこと 運座を開いた。

森

昭男

る牡丹かな

くずれんとして尚堪えてい

ビル屋上紫陽花の豫雨を呼

横浜

神吉 煙村

菜漬

逝く春やべつこう色のたか

葬列の過ぎて蛙鳴きつぎぬ

横浜 加藤 京女

終業のベル鳴り紫陽花甦る

館林

長谷川金雄

に厳かな断髪。ころを見せ、次々と課題を一渓流のせくらぎの音青嵐 しまった。 事が忙しく、しんみりと句 ふるまいの酒のまわりて田 開莚三十分後に 集まって の強いと ない連中植歌 日頃仕 嵐 三点句 二点句

心配し点々と実り夢見つ田植かな 雨止んで駒かけめぐる青嵐 吉田觽二

坂本 実夏めくや滴り落つる濯ぎも

責め馬の騎士は女や青嵐 植唄 を売つて淋しく聞くや田 浅野明勇 遮断機に振れてはゆらぐ立

「文字かく」が少々

出稼ぎの次男も帰り田植哉」耳障りだが、螢の飛び交う青嵐砂丘の果に続く海()静)一文字かく」が少々

属の脊にさつと吹きまく青と思う。 夕餉時母を待ちわぶ田植か ○修学旅行ガイドも同じ年嵐 横浜 神吉 煙村 赤々と田の面を染めて夕田、状景がよく出ていて正直な 京谷穂波ところがこの句の取り得だ

吉田謙二ルは、既に社会人として、 (評) 同じ年頃のバスガー

選後吟

5句以内 1人 ハガキ又は便箋縦書

紙 9月25日 切 社外からの投稿歓迎 ○印には薄謝を呈す

次号俳句募集

浅野明勇

当季雜詠 用

朝露の苗取り出し腰曲げて 田植人みのがささしてひと らす

川口孝行

夏浜を行けば飛び立つ朝が

田植えて蛙の声聞き足洗う 立派に働らいている。それと、「中間」とマラヤの稍をわたる青嵐 「動れしたガイド嬢と女子高級氏が、句稿 若楊をこずいて通る青嵐 「動れしたガイド嬢と女子高級氏が、句稿 若楊をこずいて通る青嵐 「数本」実 わからないが、美しい世間、以本」実 おからないが、美しい世間、以本、実 おからないが、美しい世間、以来が、「中間」とでする。

の頃

な

小雀も足をとられる青嵐